

# 倉敷市(岡山県)の一体的実施① 平成23年10月3日事業開始

市が生活・就労相談で得た求職者の「求職ニーズ」や市の勤労者福祉サービスセンターが得た事業所の「求人ニーズ」を活かして、「ワークプラザたましま」においてハローワークが地域の実情に即した求人開拓、職業紹介を実施

市

生活相談の実施、  
事業所への訪問・支援等



事業主と面談する就職支援ナビゲーター

国

求人開拓、職業紹介の  
実施等

## ① 事業内容

- ・市は、生活・就労相談を実施
- ・市が運営する勤労者福祉サービスセンターは、事業所を訪問して各種支援を実施
- ・相談・支援で得た求職者のニーズや事業所のニーズをもとに、ハローワークが求人開拓や職業紹介を実施

## ② 協定・事業計画

- ・倉敷市長、センター理事長及びハローワーク倉敷中央所長の協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を倉敷市とハローワーク倉敷中央の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

## ③ 運営協議会

- ・倉敷市、センター及びハローワーク倉敷中央で構成する運営協議会を設置。

市が収集した「求職ニーズ」や「求人ニーズ」を基に、ハローワークが求人開拓や職業紹介を実施することで、地域の実情に応じたきめ細やかな支援が実現

## (1) 実施体制

### 市

- ・ 住居・生活支援相談員1名を配置
- ・ 地区担当推進員1名(勤労者福祉サービスセンター)を配置

### 国

- ・ 職業相談員4名、就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供端末8台、職員紹介端末3台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)
求職者への 職業紹介	◇就職件数 630人	◇就職件数 471人
	(参考)24年度目標(24年4月～25年3月) ◇就職件数 630人	(参考)24年度実績(24年4月～25年3月) ◇紹介件数 計 3,445件 ◇就職件数 計 636人
求人開拓	◇開拓求人数 1,200人	◇開拓求人数 877人
	(参考)24年度目標(24年4月～25年3月) ◇開拓求人数 1,100人	(参考)24年度実績(24年4月～25年3月) ◇開拓求人件数 計 728件 ◇開拓求人数 計 1,317人

※ 平成23年度は、「ワークプラザたましま」を拠点とした求人開拓機能について、一体的実施事業として事業目標を設定して実施  
平成24年度からは、職業紹介等も含めた「ワークプラザたましま」での職業紹介を含む事業全体を一体的実施事業として位置づけ、事業目標を設定して実施

## 「アクション・プランに基づく倉敷市とハローワークとの一体的実施事業」 （ワークプラザたましま，福祉・ジョブサテライトみずしま）について

倉敷市長 伊東 香織



倉敷市では平成21年6月に国と協同して、本市玉島支所に「ワークプラザたましま」を設置し、生活・就労相談、職業相談、職業紹介などを行ってきたところではありますが、平成23年10月からは、本市とハローワークとの一体的な実施事業として、利用者ニーズを踏まえた就労支援を行うため「求人・求職マッチング機能の強化」に取り組んでいます。この事業は、「倉敷市」と「ハローワーク倉敷中央」、さらに中小零細企業に対する福利厚生サービスを提供する「倉敷市勤労者福祉サービスセンター」の3者が連携し、倉敷市やサービスセンターが把握する求職・求人ニーズをもとに、ハローワークが玉島地区の企業に働きかけて求人開拓を行うことにより、1人でも多くの求職者を就労に結びつけようとするもので、地元企業の人材確保と求職者へのサービス向上に大きな成果をあげております。

また、平成25年8月には、本市水島支所に「福祉・ジョブサテライトみずしま」を開設しました。

「福祉・ジョブサテライトみずしま」は、「倉敷市」と「ハローワーク倉敷中央」が協同で実施する「生活保護受給者等就労自立促進事業」に基づく就労支援窓口です。

生活保護受給者数は過去最高水準に達し、稼働年齢層で就労支援を必要とする者が増加しており、切れ目なくきめ細やかな就労支援により生活保護受給者等、生活困窮者の自立支援を後押しする拠点としての機能を果たせるものと期待しております。

本市は、これまでも、就職面接会の開催など、ハローワークと連携し、市民の雇用・生活の安定に取り組んできたところですが、このような一体的な取り組みを通じて、ハローワークとの連携がより強化され、きめ細かなサービスの提供が可能になったと感じています。今後とも、市と国がそれぞれの強みを活かしながら、地域の実情にあった新しい形の行政サービスを行うことにより、市民が安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでまいりたいと考えています。

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：50歳代 希望職種：製造・縫製関係  
生活保護受給者 玉島福祉事務所から就労支援対象者として支援要請

## ① 抱える課題

- ・縫製（主にアイロン工）の熟練者だが、同職種で10年近いブランクがある生活保護受給者。長期失業の状態にあるため、求人者から敬遠される。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・乏しいと思われる就労意欲の喚起を、福祉事務所と共同で行う。
- ・主な求職活動として利用している求人誌に加え、ハローワークの求人情報の積極的活用を指導。定期的な福祉事務所及びワークプラザたましまへの来所を促す。
- ・職歴のブランクはあるものの、本人も自信を持って応募ができ、経験を活かせる職種での個別求人開拓を行う。

## ③ 結果

居住地近隣の縫製会社に求人開拓・個別情報提供のために訪問し、本人の経歴等説明。受け入れ可能な部署は以前経験したアイロン工とは異なるプレス機を使った職種となるため、事業所、本人ともに不安を感じていたことから、双方の了承を得、トライアル雇用制度を活用し採用となる。

## ○ ハローワーク担当者の所感

「人柄は穏やかでまじめそうな人物であることが採用につながった」と事業所から話があったとのことで、福祉事務所との連携により求職者の長所などを詳細に把握、定期的な来所を促した結果が短期間で再就職につなげることができた。

## ○ 本人のコメント

ブランクが長かったので面接を受けてもなかなか採用されませんでした。本当にありがとうございます。社長さんがとても人情味のある方で、福祉事務所とハローワークの担当者の方に感謝しております。